

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)相模原市南区大野台6丁目計画新築工事	階数	地上10F
建設地	相模原市南区大野台六丁目2209-ロ-27外	構造	RC造
用途地域	準工業地域・指定なし	平均居住人員	487人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2024年10月 予定	評価の実施日	2023年1月31日
敷地面積	4,850㎡	作成者	株式会社長谷工コーポレーション
建築面積	1,612㎡	確認日	2023年1月31日
延床面積	10,234㎡	確認者	株式会社長谷工コーポレーション



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.4

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (92 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 77% (46 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の 77%

④上記+ 77%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.2

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.6

音環境	3.1
温熱環境	3.8
光・視環境	3.8
空気質環境	3.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.2

機能性	3.6
耐用性	3.0
対応性	2.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.7

生物環境	2.0
まちなみ	3.0
地域性・	3.0

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.1

建物外皮の	4.0
自然エネ	2.0
設備システ	5.0
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.9

水資源	3.4
非再生材料の	2.7
汚染物質	3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.2

地球温暖化	3.9
地域環境	3.0
周辺環境	2.7

3 設計上の配慮事項

総合	その他
JR横浜線「古淵」駅から徒歩10分の準工業地域に共同住宅を計画した	
Q1 室内環境 建築材料はJIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している	Q2 サービス性能 住宅性能表示制度 構造躯体劣化等級3を取得予定
LR1 エネルギー 断熱等性能等級4、BEI=0.82、LED照明設備を採用	LR2 資源・マテリアル 躯体+軽鉄+仕上材の分別しやすい工法としている
	Q3 室外環境(敷地内)
	LR3 敷地外環境 公害対策ガイドラインのチェックリストの過半を満たし、広告物照明は行っていない

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される